古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石　後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３３３１号
発行令和２年８月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２５－２２２５

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

周到　菅氏一気に優位

周到菅氏 一気に優位

岸田氏支持の言質もらえず

石破氏来年勝負へ撤退論も

自民総裁選

フォーカス FOCUS

総裁選を巡る各派閥や議員グループの動向（30日現在）

- 細田派（98人）→態度未定、岸田氏か菅氏を軸に検討中
- 麻生派（54人）→態度未定、岸田氏か菅氏を軸に検討中
- 竹下派（54人）→態度未定、候補独立検討も菅氏支持の声
- 二階派（47人）→菅氏出馬なら支持へ
- 岸田派（47人）→岸田氏出馬なら支持
- 石破派（19人）→石破氏出馬なら支持、不出馬論も
- 石原派（11人）→態度未定
- 菅グループ（約40人）※注1 →菅氏出馬の場合は支持
- 谷垣グループ（23人）※注2 →態度未定

※注1　無所属議員による「ガネーシャの会」、「向日葵会」、「令和の会」、参院有志らで構成。他派閥との重複も
※注2　他派閥との重複も

菅義偉官房長官が安倍晋三首相（自民党総裁）の後継を選ぶ総裁選への出馬意欲を周囲に示したことを受け、党内では一気に菅氏を有力視する空気が強まった。岸田文雄政調会長も出馬の意向を明言したが、二階俊博幹事長率いる二階派は今に菅氏支持を打ち出す見通しで、今後は首相の影響を受ける細田派（98人）や麻生派（54人）の動向がカギとなる。各陣営の駆け引きが続く中、「ポスト安倍」に強い意欲を示してきた石破茂元幹事長は難しい判断を迫られている。

（1面参照）

「総裁選に向けて挑戦しようと準備をしている」（他派閥幹部に）私の思いを伝えさせていただいた」。岸田氏は30日夜、東京都内で記者団に、改めて出馬への意欲を語ってみせた。

首相からの禅譲を狙う岸田氏にとって、首相を輩出した最大派閥・細田派と首相の盟友の麻生太郎副総理が率いる第2派閥・麻生派の支持が鍵みの綱だ。ただ、首相の急な退陣で、首相は安倍的に政権を引き継ぐため、基本政策とみられていた岸田氏から、内閣を長年支えた菅氏に傾いたとの見方が広がる。

同日午前、一部報道で菅氏の出馬意向が報じられると、岸田派（47人）内は動揺した。焦る岸田氏は同日午後、細田派を率いる細田博之会長に会い、「まず意法改正をやりたい」と自らの政権構想を語り、支持を求めた。岸田氏は総裁は改憲に慎重姿勢だったが、党憲法改正推進本部長も務めた細田氏にアピールした。

ただ、同派幹部は「（岸田氏に）安倍支援は与えていない」と強調。細田氏は31日には菅氏と会談するといい、細田派内からも「菅氏は安倍政権を継承する正当性がある」（幹部）との声が上がる。

岸田氏はその後、麻生氏とも面会。しかし、麻生氏も「安倍総理の意向がはっきりしていない」と態度を保留した。派内からは「菅氏が出るなら岸田氏は出られなくなるかもしれない」（中堅）と懸念する声が出るなど、ここに出馬を見送れば派内の求心力が低下するのは必至で、「ここで踏ん張らなくてどうする」（幹部）との声もある。

菅氏は公式には出馬表明は言及していないが、派閥に属さない議員を中心に接触を続けるなど、出馬に向けた準備を着々と進めている。

菅氏は、首相の健康不安説が流れた8月上旬、周辺に「（首相は）もう辞めるんだろう」と話したとされる。首相の辞任表明の2日前の8月26日には、菅氏の出馬は「既に事実上の菅政権になっている」と指摘する声も漏れた。

菅氏には強権的な政治手法で敵が多いとの見方がある一方、「人の話をよく聞く」（閣僚経験者）との評価もある